

令和4年度北上市少年センター補導活動開始

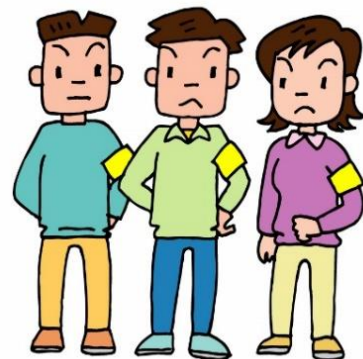
令和4年度の補導活動が新体制でスタートしました。

各補導員は、「地域子どもたちは自分たちが守る」との決意の下、街頭補導活動を開始しました。

未だに猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で、行動制限が長く続き、大人から子どもまで多くの方がストレスを抱え、体調に異変をきたしているとの報道がありました。



これらのストレスから思わぬところで少年がトラブルに巻き込まれたり、犯罪被害に遭う恐れもあることから、見守り活動等、街頭補導活動を強化し、日本の未来を担う少年たちを守っていきます。



ストップ！薬物！！

近年、大麻事犯は年々増加傾向にあり、とりわけ30歳未満のいわゆる若年層における大麻の蔓延は、以前にも増して深刻な状況となっており、岩手県でも大麻所持で青少年が検挙されています。

薬物は依存性もあり、自分の意志でコントロールすることができなくなります。絶対手を出してはいけません。

薬物使用で見られる体調の変化

- (1) 意識障害や、幻覚・妄想、記憶力の低下を引き起こす。
- (2) 痙攣や脳溢血を起こす恐れが高まる。
- (3) 腎臓や肝臓などをはじめ、いろいろな臓器の機能障害を引き起こす。
- (4) 不整脈、胸痛などが起こり、ときには心臓発作を誘発し死に至る。

薬物乱用を防止するために

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないことと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に相談すること。



ひとりで悩まないで 相談してみませんか

学校で「いじめ」にあっている。
不登校になっている。
学校が面白くない。
親とケンカしてしまった。
家にいても面白くない。

など、いろいろ悩んでいるあなた

相談してみましょう！まずはお電話を！



北上市少年センター悩み相談室

0197(72)8302

相談時間 月～金 9:00～17:00

場所 北上市大通り一丁目3番1号
おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター

青少年の非行・被害防止県民運動 7/1～8/31

毎年7月、8月は、岩手県の「青少年の非行・被害防止県民運動」期間です。

青少年を取り巻くインターネット利用環境が一層多様化する中で、全国的にゲーム依存が疑われる青少年の増加やSNS等を悪用した成人等による性被害児童数が増加しています。

子どもの将来を守るため、これらの対策を重点的に推進します。

重点課題

- 1 インターネット利用等に係る子供の性被害等の防止
 - 2 有害環境への適切な対応
 - 3 薬物乱用対策の推進
 - 4 不良行為及び初発型非行(犯罪)等の防止
 - 5 いじめ・暴力行為等の問題行動への対応
- 当センターでは、街頭補導活動時に通年で「愛の一声運動」を実施しており、青少年の非行防止、犯罪被害防止に力を入れていきます。



自転車も交通ルールを守ろう

最近、市内を巡回していると、自転車の交通ルールを守らないで走る大人や学生が多く見られるようになりました。

特に多くなったと感じるのは、大人はスマホを見たり操作しながらの運転と一時停止場所の不停止学生は

スマホ操作のほか、2台以上の並進です。

4月以降、小学生や中学生の交通事故も発生しています。

大人の行動は子どもが真似します。交通事故に遭わないためにもみんなで交通ルールを守りましょう。



自転車の基本的なルール

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
・車道は左側を通行
・歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ② 飲酒運転・二人乗り・並進・傘さし運転・片手運転・スマホ操作や通話しながらの運転禁止
- ③ 夜間はライトを点灯
- ④ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認



補導日誌

5月2日17時45分
さくら野百貨店前で中・高校生8人に「気をつけて」と声をかけた。お宮通り付近に学生の姿無し。駅前女子高生3人に声をかけた。特に問題行動は見られなかった。

5月4日16時
ゴールデンウィークも後半で、各公園は親子連れで遊ぶ姿が多く見られた。アメリカンワールドで、店の人に子どもたちの様子を聞くと、連休中は小学生以下の子どもたちが親と一緒に遊ぶ来ているとのことであり、今日も多く若者で賑わっていた。

5月9日15時50分
下校中の小学生に声をかけると大きな声で返事をしてくれる。小学生女児からは先にあいさつをされ、うれしい気持ちで返事をした。ゲームセンターを視察したが、問題行動は見られなかった。

5月11日18時
午後6時を過ぎていたためか、下校中の学生の姿はほとんどなかった。修練館の弓道場で高校生が練習していた。修練館管理者から、酔客が入って来ることがあるので注意しているとの話があった。子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう注意していきたい。